

## 第3回 南アルプス市総合計画審議会 議事録

日時： 令和6年1月18日(木) 午後7時00分

場所： 南アルプス市役所 本庁3階 大会議室

出席： 15名

欠席： 7名

事務局： 南アルプス市(内田副市長、櫻本総合政策部長、依田総合政策部理事、他3名)  
公益財団法人山梨総合研究所

(次 第)

1. 開 会

2. 副市長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議 事

(1)「第3次総合計画策定のための市民会議」の開催結果について

(2)若者向けアンケート実施結果について

(3)基本構想における「将来像」について

(4)その他

5. その他

6. 閉 会

(配布資料)

(1)「第3次総合計画策定のための市民会議」の開催結果について【資料1】

(2)若者向けアンケートの実施結果について【資料2】

(3)基本構想における「将来像」について【資料3】

(4)第3次総合計画策定に関する市民アンケート 追加資料

## 1. 開会

中澤副会長:本日は、夜分寒いなか、第3回南アルプス市総合計画審議会にお集まりいただき、感謝申し上げます。すでにご存知かと思われるが、能登半島地震を始め新年から事故のニュースが続いている。特に能登半島地震に関しては、本当に心配しているところである。第3次南アルプス市総合計画を検討するにあたり、防災対策の在り方の重要性についてあらためて考えさせられたように思う。本日は、過日説明のあった市民意識調査の結果、昨年12月の市民会議の傾向等を参考とする中で第3次南アルプス市総合計画の策定に向けて協議を進めていく。皆様におかれましては、忌憚のないご意見をお願いし、開会とする。

## 2. 副市長あいさつ

内田副市長:中澤副会長の挨拶にもあったように、災害の部分に関しては、総合計画の中でもしっかりと協議していく必要があると感じた。本市は、穴水町と姉妹都市提携をしており、1月5日から職員が出向いて支援をしている。今後においても継続して支援を続けていく予定である。本日の第3回南アルプス市総合計画審議会は、市民会議の結果や小中学生、高校生からのアンケート結果を踏まえ、事務局から基本構想(案)や将来像、政策体系などの説明をする予定である。今年度においては、皆様から意見をいただく中で、3月には基本構想のイメージを作り上げていきたいと考えているので、闊達な意見をお願いする。

## 3. 会長あいさつ

今井会長:寒い中、またお忙しいところお集りいただき、感謝申し上げます。市民会議ですが、非常に良い雰囲気です。審議委員のなかにも参加された方がいるとお聞きしています。詳細に関しては、私も初めて聞くので大変楽しみである。議事3基本構想における「将来像」については、全員からご意見をいただくこととなっているのでご協力をお願いする。

## 4. 議事

司 会:前回の審議会において、宿題をいただいている。

就業別の土地利用と農地の方向性について、クロス集計して皆様に提示してはどうかとアドバイスをいただいていた。事務局よりお手元の資料について説明する。

事務局:(資料、第3次総合計画策定に関する市民アンケート 追加資料、に基づき説明)

司 会:前回の資料とすることで質疑は行わない。

司 会:議事進行は、今井会長をお願いする。

(1)「第3次総合計画策定のための市民会議」の開催結果について

今井会長:議題(1)について事務局より説明を求める。

事務局:(資料3、第3次総合計画策定のための市民会議)の開催結果について、に基づき説明)

今井会長:委員より発言あるか。

今井会長:当日参加された委員に、感想を求める。

芦澤委員:皆さん積極的に参加され、生き生きと議論していた。それぞれの立場で意見を交換されていた。

今井会長:他に発言あるか。

折居委員:若い人は、若いなりに考えていた。地域にお金を落とすことが強調されるなど、自分たちの職業が中心で議論されていたので、もう少し大きな視点から議論が欲しかった。

## (2)若者向けアンケート実施結果について

今井会長:(2)について、事務局より説明を求める。

事務局:(資料2、若者向けアンケートの実施結果について、に基づき説明)

今井会長:委員から発言あるか。

折居委員:今回の子どもに対するアンケート調査がとても価値のあるものだと感じた。これまでに実施した大人を対象としたアンケート調査では、結果がある程度想定されるものであった。特に、祭りや行事が多い点に魅力を感じていることに驚かされた。地域の祭りもコロナが5類に移行した後に再開しようと動いたが、インフルエンザの流行等と重なり実施されなかった。それが残念だった。大人側が目線を変えて見てもらいたいアンケート調査だと感じた。

今井会長:他に発言あるか。

深澤委員:小中学生と高校生へのアンケートの実施自体は、10年後の市の姿を考えていく上で重要だと感じる。しかし、7割弱の回答率では少ないように感じる。

事務局:市内の小中学生についてはタブレットを使って回答しており、高校生はQRコード記載の用紙を配付し、そこから回答してもらっている。特に授業の一環としてなど強制的に回答はさせていないため、100%にはなっていない。

今井会長:今後は授業の一環として回答してもらうことも可能か。

事務局:教育委員会と協議していきたい。

戸栗委員:「あなたは南アルプス市に住み続けたいですか」との質問が気になった。小中学生では約4割、高校生では約3割が住み続けたいと回答している。何故住み続けたくないのかを掘り下げて聞いて欲しかった。また、住み続けたい理由も同様に掘り下げて聞いてもらいたかった。

事務局:住み続けるならどのようなまちが良いか聞いている設問ですので、クロス集計をすることで住み続けたいと思う理由ならば出せるかもしれない。

戸栗委員:何故、住み続けたくないのかが重要だと考える。そこを開示していかないと気が付かない点もあると思う。

今井会長:今後のアンケート調査の反省点としてもらいたい。

(3)基本構想における「将来像」について

今井会長：(3)について、事務局より説明を求める。

事務局：(資料3、基本構想における「将来像」について、に基づき説明)

今井会長：志村委員から順に意見を求める。

志村委員：これから10年後のスパンで自分の将来を考えると、夢のある話もあれば要望もある。

どのジャンルにおいても「自然」という言葉が出てくる。アンケート調査に回答された方の多くから自然が大事だと思いが示されている。生まれてから老人になる過程で、幸せを追求していきたいという意思があり、例えば「健康」という言葉からもうかがえる。すべての市民の意見というわけではないが、これからの南アルプス市の将来を担っていく人たちは、安心して過ごせるまちを目指していると感じた。

芦澤委員：思いついたワードを上げると、「自然、歴史・文化・伝統、共生・協働、産業、安心・安全」。

澤登委員：「自然」が一番多く出ているが、自然をそのまま南アルプス市に活かしていくためには、農業や林業の活性化、商工業との調和なども重要となる。そうした部分を繋ぐことで住みやすい将来の南アルプス市に繋がる。誰がどこを活かしていくのかが重要だと考える。そういった点に重きを置いてもらいたい。住みやすいまちを目指してもう少し深いところへ施策として、取り組んでももらいたい。

横森委員：全国的に人口減少が進んでいる中で、南アルプス市の将来像として若者がある程度いないと活気が出ない。高校生のアンケート調査はその点で重要。キーワードとして「自然」などは強みであるが、言葉が小さくても、「活気がある」、「生活しやすい」などの利便性を高校生は現実的に求めていることから、戻って来たいまちとしてのフレーズとなればよいと感じた。

川村委員：55.1%の人がどちらとも言えないとなっている。いずれ南アルプス市に住んでもらうためには、店を多くするや、自然を守る、移動手段を確保するなどが重要だと思われる。人口減少が叫ばれているが、南アルプス市は子育て宣言をしており、18歳未満は医療費無料であることなど、若い人たちが南アルプス市はいいよね、と思ってもらうことが重要。キーワードとして自然が出ているが、南アルプス市の場合、果樹や農産物につながるが、一方で耕作放棄地も散見されており、そうした点への施策が必要。また、交通が便利になるため、特に高齢者の移動手段の確保が重要。

三木委員：アンケート調査が何か漠然としているように感じる。その後をどうするのかを具体的に示してもらいたい。アンケートをやって終わりのように感じてしまい、皆様の意見は分かるが、その点を不安に感じる。

事務局：アンケート調査については、今後の基本構想、施策などを委員や庁内での議論のための参考資料であり、将来像のための材料である。高校生の意見も施策として取り上げられるものは反映させていきたい。

深澤委員：12月の市民WSにも参加した。生涯学習・文化・スポーツのグループに参加したが、そこでは、人づくりやコミュニケーション、ともに集うイベントの開催、などが意見として

出された。それを踏まえ、私が思うキーワードとして、「助け合う、安全、イベント、つながる、安心、一人じゃない」を挙げる。

戸澤委員：私も市民WSに参加した。その中で退職したシニア層が多くいるとの意見が出た。そうした方が充実した日々をどのように過ごすのかも大事。将来像として、「人の活躍、人と人とのつながり」が重要だと感じる。それが子供たちに良い影響を与えられたらと考える。高校生のアンケート調査からも出ているが、交通の利便性について、自分も重要だと感じる。

久保田委員：農業をしているので、果樹一般だが農業は大事だと感じる。子どもたちの回答にも自然豊かなまちが挙げられている。南アルプスが暮らしやすいと思ってほしい。人と人とのつながりが絶対に必要で、それが子ども平和を守ることにもつながる。子どもから高齢者までもが平和に暮らせることが重要。まちが過疎化しないように進んでいてもらいたい。また、自然を守る形で発展できれば、子育ての施策は充実しているので、将来的には高校生が戻ってこられる施策が求められる。

内田委員：市民 WS に介護・福祉のグループで参加した。介護の仕事を離れて数年経つが、障がいを持った人など誰も取り残さない社会になってもらいたい。自然豊かはそれぞれ書いてあるが、心も豊かな小中学生や高校生であってもらいたい。小さいころから文化・伝統のある地元の祭りや行事に参加することで、そうした豊かな心を醸成していてもらいたい。現代で欠けているものは豊かな心だと感じている。今の子どもたちには心豊かに育ててもらいたい。

戸栗委員：南アルプス市の商業や工業が今後発展していくことが考えられるが、1つ気がかりなのは農業である。高齢化により跡継ぎがなく、荒廃農地、耕作放棄地が増えていくことが課題である。ふるさと納税が22億でシャインマスカットが8割を占めていた。以前は富士吉田市に次いで2位だったが、今は4位で特にシャインマスカットの生産が他の自治体でも増えてきており、テコ入れをする必要があると感じている。そうしたことから農業が重要だと思う。議会の会派の視察でオリーブの栽培を見てきた。南アルプス市も温暖化でオリーブが育てられる環境になってきている。それを何とか市の方に提言していきたい。荒廃農地の解消に向けて取り組んでいてもらいたい。漠然と農林業の振興とあるのではなく、どのような中身に力を入れていくのかを考えてもらいたい。

折居委員：小学生の祭りに対する意見や一般の方へのアンケート調査の結果から、ポイントが出されているが、そこから一般の人が将来像を出していくのは難しいと考える。まちづくりの専門知識を持った人でプロジェクトチームを作り、そこで核となるものを作ってから全体に投げ掛ける方がよいのではないかと。内閣府でスーパーシティに対する提言をこれまででもしてきたが、リニア新幹線ができることで一番利益を受けるのは、南アルプス市だと考えている。リタイア層へのアプローチと、本社機能を有した会社の誘致が必要ではないかと、また頭脳集団としての若い世代へのアプローチが重要だと考える。分かる言葉で提案をして頂きたい。

中澤副会長：自然の豊かさ、暮らしやすさは色々な視点を含んでいると思う。農業の荒廃については、農協として農業法人を立ち上げて取り組んでいく予定である。信州上田では先進的な取組を行っており、畑が足りないほどの人気になっていると伺っている。山付きの道路がない所などでは難しいが、南アルプス市には商業にとっても有利な土地である。今後も生産、後継者の育成にも取り組んでいきたい。

新津副会長：これから10年の計画ということで、小中学生や高校生のアンケート調査では自然豊かなまちとあるが、確かに自然が豊かでなければ困るわけだが、コストコ(大型複合商業施設)とヒカレヤマナシに関連して、新たにコストコが開業した栃木県壬生町の商工会に視察に行ってきた。当初はすごい渋滞が問題となったが、現在はある程度解消されているとのことだった。周囲のガソリンスタンドや商店の消滅も危惧されていたが、会員でないと利用できないこと、お年寄りの中々利用しにくいなどの事情もあり、それも問題はないように感じた。コストコやヒカレヤマナシなども重要。移住者が増えると同時に、行き止まりが無いような道路整備も計画的に進めていってほしい。昨年度、南アルプス市商工会では満喫ツアーを開催した。イチゴやシャインマスカット狩りを行い、その中で南アルプス市役所の学芸員から市の歴史や文化について説明してもらった。長年住んでいる我々も知らない部分もあり、市の子どもたちにもそうした市の魅力を伝えていく必要がある。

今井会長：今後、将来像を絞り込んでいくには情報が多いので、まずは市と山梨総研で検討していただきたい。

事務局：本日、皆様よりご提案のあったキーワード、将来の南アルプス市に対する想いを踏まえ、十分協議させていただく。次回に関しては、将来像(素案)をお示しさせていただきたいと考えている。

今井会長：他に発言を求める。  
(特になし)

#### (4)その他

今井会長：(4)について、発言はあるか。  
(特になし)

今井会長：予定されていた議事は全て終了とする。

#### 5.その他

司 会：5.その他として、事務局より次回日程についてご案内する。

事務局：次回の審議会は令和6年3月13日(水)を予定している。時間については、午後7時からとなる。委員各位にはご予約をお願いする。

## 6. 閉会

新津副会長:長時間の審議にご協力いただき感謝申し上げます。これからの南アルプス市を背負っていく若者たちに将来南アルプス市に住んでもらえるようなまちになってほしい。また基本構想(案)が出されるということなので引き続き協力をお願いし、閉会とする。

以 上